

# T T C 定例山行実施記録

2016. 2. 22 S Y

1. 山行名	<b>秩父 四阿屋山 (771m)</b>			埼玉県
2. 実施日	2016年2月21日(日) 日帰り マイクロバス利用			
3. 天候/ 参加人数	快晴 / 13人(男性6人・女性7人)			
4. スタッフ	CL/計画: SL: 救護: 会計: 写真:			スタッフ名削除
5. 参加者	A班: B班:			参加者氏名削除
6. 費用  <b>5,300円/人 カンパ金 312円</b>	マイクロバスレンタカー代: 29,268円、ドライバー謝礼: 18,000円 ガソリン代: @90円×(270+50km)/5km=5,760円 高速代: 8,540円(圏央厚木~花園往復7,500円+寄居~皆野往復1,040円) 入浴代: 7,020円 <b>合計 68,588円 ⇒ 5,300円×13人=68,900円 ⇒ 残金312円</b>			
7. 計画と実行 タイム	時間区分	歩行	休憩	行動
	ガイドブック	3:00	-	-
	計画	4:30	0:50	5:20
	実行	4:15	0:50	5:05
8. 実行コース タイム	ヨーカドー前7:25==圏央厚木7:40==8:30高坂SA8:45==花園IC9:00== 9:50道の駅・薬師の湯10:00==10:05節分草園10:30==10:35つつじ新道登山口 10:45・・・11:30最初の鎖場12:10・・・12:50四阿屋山13:20・・・14:20ロウバイ・フクジュソウ園14:30・・・15:10道の駅・薬師の湯16:45==花園IC==高坂SA(0:15)==圏央厚木==19:30ヨーカドー前			
<b>コース概要・特記事項・反省事項等</b>				
2年前のちょうど今頃、「きのう四阿屋山に行ったけど、鎖場とやせ尾根がすご〜く良かったよ!」 と言ったのが岳友のT子だった。仲間と居酒屋で鍋を囲みながらの山談義だったが、その日のT子の 「鎖場とやせ尾根が良かった」の一言だけが脳裏にくっついてしまった。花の名所であることはあと で知った。そんないきさつで後ろめたいが今年度の定例山行に入れていただき、首尾よく岩と花に戯 れることができるのか、不安を溜めての山行だった。花博士の異名をもつHMさんをSL、腕のある SKさんを写真担当、誰でも背負えるETさんを救護、間違いが起こらないSMさんに会計を、班長に は気配りのTSさん、声の通るOKさんをお願いした。				
◆開花状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・セツブンソウは咲き始め、フクジュソウは開花適期、ロウバイは開花晩期だった</li> </ul>				
◆四阿屋山つつじ新道				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の鎖場はチムニー(高さ約6m)状に鎖が垂れていた。果たして全員が登れるのか、ホールドの位置を確認・探しながら登ったが、ホールドが少なくガバ(しっかり掴める岩)もなかった。</li> <li>・ETさん、STさんおよびCLのスリングを繋ぎ合わせてのトップロープの形で安全を確保しながらの登攀となった。これ以降の鎖場数カ所については特に難しさはなかった。</li> </ul>				
◆四阿屋山山頂				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・両神山、二子山、城峰山などが良く見え、展望の利く山頂だった。</li> <li>・山頂は狭く、我々の他に4人パーティで満員となった。</li> </ul>				
◆特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・セツブンソウの自生地として知られる「節分草園」は通常ひとり300円の入園料を支払うが、今回は咲き始めと言うこともあり無料だった。</li> <li>・セツブンソウが僅かな開花であったが、当初の目的(セツブンソウ、フクジュソウ、ロウバイの花めぐり)は辛うじて達成できた。</li> </ul>				
◆反省点				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじ新道の最初の鎖場は想定以上に難所だった。事前の調査不足を反省している。</li> </ul>				